

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 留学生を受け入れ、国際的視野をもつ人材を育成する。	→留学生の受け入れ人数	C	C	C	B	
2. 教育研究の国際交流を緊密化する。	→海外からの招聘教員数及び海外派遣数。	B	B	B	B	
3. 科学技術英語教育を推進する。	→科学技術英語の内容再編と科学技術英語フォーラムの開催。	B	B	A	A	
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	外国人留学生は正規学生5名、交換留学生5名であった。在学生については、理工学部のカリキュラム上から長期留学生はなかったが、語学研修や国連セミナーへの参加を目的とした短期留学生は8名と増加傾向にある。留学時期を夏休みおよび春休み期間の両方で柔軟に設定した効果が表れていると考えられる。受け入れおよび派遣ともに明らかな増加を示している。
目標2	外国人教員、研究員の受け入れ数は、客員教員3名、客員研究員1名、受託研究員4名（うち日本学術振興会特別研究員2名を含む）、博士研究員3名と全体的に例年並みの水準を維持している。一方、教員の派遣は国際学会等での研究発表を含めて97件と、昨年並みの水準を維持した。
目標3	科学技術分野等の英語表現の適切な利用をサポートするために作成したコーパスなどに基づき、その効果的な活用を目指して、クラス編成及び授業内容を改編した。
備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【理工学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	—	1	1	1	2	3	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	—	1	1	1	2	3	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・累計数 ・交換は正規以外とする。 外国人留学生÷在籍学生数	
		外国人留学生	正規	人	2	3	4	3	5		9
			交換	人	—	—	—	—	—		—
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5
			交換	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
その他(セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	1	0	0	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	3	5	6	6	8	8	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	1	1	1	1	1	1	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	2	4	6	3	3	3	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	111	67	135	103	134	134	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	0	0	0	0	0	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	—	10.3	9.9	10.0	12.2	12.0	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)